

真宗門徒入門講座 (全4回)

ききょうしき
～「帰敬式」(おかみそり)を受け、法名をいただきましょう～

光明寺では、お寺で「帰敬式」(おかみそり)を執行しております。

「帰敬式」とは、煩惱の象徴ともいわれる髪の毛を剃るという形をとり、仏弟子としての名告り(なのり)である法名(ほうみょう)をいただく儀式です。

法名は、亡くなった時に付けられる名前だと思われている方もいらっしゃると思いますが、本来は、法名は生きているうちに、この私が仏の教えをよりどころにして生きて往(ゆ)くという人生の態度決定をするためにいただく大切な名告りなのです。

今までは、自分の思いという物差しで他者をはかり、社会をはかり、お互いに傷付け合いながら自分中心に生きてきた私たちが、仏の教えを聞くことを通して、「本当のよりどころ」である「ご本尊」を中心とした生活を始めることになるのです。

法名を名告ることは大切な意味があります。その意味を確かめるため、「帰敬式」を受ける前に、浄土真宗の門徒の生活を習う、3回の入門講座を受けていただきます。

この機会に、ぜひ、新しい生活を選び直す「帰敬式」(おかみそり)をお受けください。

テーマ 「念仏申す生活を ～真宗門徒の生活実践～」(礼拝・聞法・正信の生活)
らいはい もんぼう しょうしん

期 日 1回目(礼拝の生活) 2022年1月15日(土) 14:00～16:30
2回目(聞法の生活) 2022年2月19日(土) 14:00～16:30
3回目(正信の生活) 2022年3月12日(土) 14:00～16:30
4回目(帰敬式受式) 2022年4月 9日(土) 10:00～14:30
(帰敬式受式後、午後より「花まつり法要」をお勤めいたします)

内 容 1回目～3回目は、真宗門徒の生活について、住職からお話をいたします。
4回目には帰敬式を受式いただき、法名をお渡しいたします。
※帰敬式を受式いただくためには、1回～3回には必ずご出席いただきます。
※すでに法名をいただいている方、または入門講座だけの受講をご希望の方も、ぜひご参加ください(その場合は、冥加金は不要です)。

会 場 真宗大谷派光明寺 本堂および客殿 (〒135-0013 東京都江東区千田 9-7)

冥 加 金 21歳以上は10,000円 20歳以下は5,000円
※本山へのお礼金です。第4回目、帰敬式受式の際にお納めください。

申し込み 別紙申込書に必要事項をご記入のうえ、来年1月11日(火)までに、郵送またはFAXにて送付いただくか、近くにお住いの方はお寺までご持参ください。

定 員 受式者12名(感染予防対策のため、定員になり次第締め切らせていただきます)
※来年以降も実施いたしますので、次の機会に受式ください。

※ ご不明な点は、お寺までお問い合わせください。

日程の詳細について

① 第1回目から第3回目の日程(予定)

14時	開会	「正信偈」をご一緒にお勤めいたします。
14時20分	お稽古	「正信偈」のお勤めの作法について説明・練習します。
15時	法話	真宗門徒の生活というテーマで、住職がお話しいたします。 第1回目「礼拝の生活」(ご本尊について、など) 第2回目「聞法の生活」(教えを聞くということについて、など) 第3回目「正信の生活」(迷信に振り回されない生活、など)
15時40分	茶話会	(お茶を飲みながら、疑問に思うことなどを話し合しましょう)
16時30分	閉会	

② 第4回目、帰敬式(おかみそり)の日程(予定)

10時30分	開式	
10時40分	おかみそりの儀	お一人お一人に「おかみそり」を執行いたします。
11時	法名伝達の儀	仏弟子の名告りである法名をお渡しします。
11時15分	お勤め	「正信偈」を皆さんで一緒にお勤めいたします。
11時30分	法話	「帰依三宝の生活」について、住職がお話しします。
12時	閉式	
閉会后、お齋(お弁当)を召し上がっていただきます。		
13時	花まつり法要	(～14時ころまで)



「帰敬式(おかみそり)」執行と入門講座の様子

③ 花まつり法要について

帰敬式受式後、午後より、「花まつり法要」をお勤めいたします。

30分ほどのお勤めと、30分ほどの住職の法話があります。

花まつりは、お釈迦様の誕生を仏教徒である私たちが喜び合う法要です。

帰敬式は4月9日ですが、4月8日は、お釈迦様(ゴータマ・シッダールタ)が誕生された日だと伝えられています。(ちなみに、親鸞聖人は4月1日がお誕生日です)

法名をいただいた皆さまにとって、その日は「ほとけの子」としての第2の誕生日になります。

ぜひ、一緒にお勤めをして、「ご誕生」の喜びを共にいたしたいと思います。

お齋(お弁当)のあと、もうしばらくお残りください。